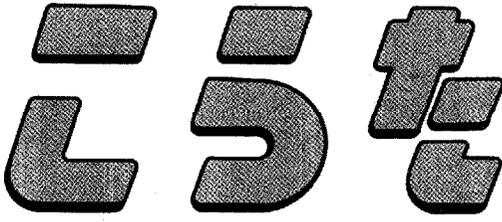


K O T A

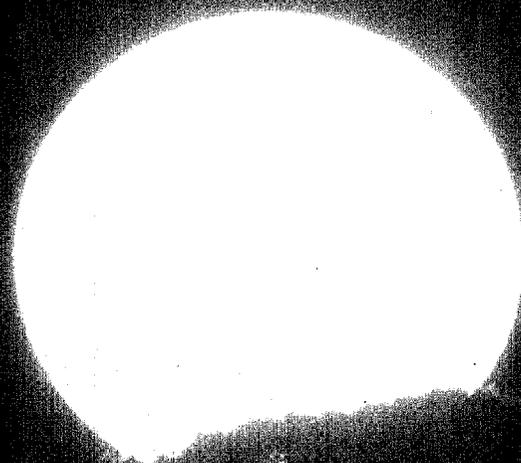
K O H O

広報



'92 No.520

新年号





幸田町長・大浦猶之

安定と充実を目指して さらなる躍進

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。皆様もお元気で新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年は、国際的にも目まぐるしく変化した激動の年でありました。

本町におきましては、社会環境の変化の中で、常に時代の変化に即応できる行財政運営を目指し、予算の有効活用を図り、健全な運営に努めてきました。

主な事業は、大草保育園改築、三ヶ根駅前休憩所等建設、町営神山住宅二期工事、公共下水道、農業集落排水事業等で、いずれの大型プロジェクトも順調に進んでおり完成が期待されます。又、国際化の中で町職員の海外研修事業を実施し、グローバルな見識をもった職員養成に力を入れているところです。

今年は、文化の薫る、幸田町を目指し、町民会館建設計画推進を柱に、心身

年頭のごあいさつ

1992

障害者福祉会館の建設、芦谷コミュニティセンターの建設をはじめとし、道路、河川等の社会資本の充実、生活環境の整備、福祉、教育、産業の振興等の諸施策を積極的に取り組んでいく所存であります。幸田町の安定と充実を目指し、次世代、子、孫に託す、安全で快適な住みよい町づくり・愛情と笑顔のひろがる町づくり・健やかな心身、文化の薫る町づくり・活力みなぎる、あすを拓く町づくりの五つの施策を柱とし推進するため、最善の努力をいたす所存であります。今後とも町民の皆様のご支援とご協力を切にお願ひ申し上げるとともに、幸田町の益々の発展と町民の皆様のご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶いたします。



愛知県議会議員・本多 進

幸田町の皆さん、明けましておめでとうございます。

どなたさまもお健やかに平成四年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、国の内外ともに激動の年でありました。

しかし、皆様方の英知と努力により悪影響も最小限に止め、更に飛躍の糧とすべく最大限の努力をしていただきました。

お陰で未曾有の経済成長をとげ、明るく住みよい調和のとれた県政推進ができました。

幸田町に対しましても道路、河川、下水道などの社会基盤の整備は勿論、農業および商工業基盤の整備、福祉、教育の充実等に県も力を入れているところがあります。

更に一層幸田町が発展し、皆様の生活が充実いたしますよう県政推進の立場から努力いたします。

今年は申年、皆様にふりかかる災いが去る年でありますようお祈りすると同時に、努力をいたしたいと決意を新たにいたしております。

皆様方の変わらぬご支援と一層のご協力をお願い申し上げますとともに、年の初めにあたり、皆様の一層のご多幸をお祈りいたしまして年頭のごあいさついたします。

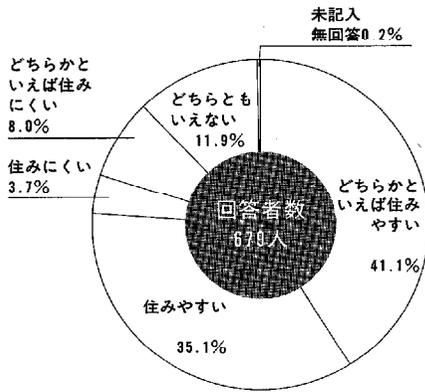


住民意識調査

八月中旬から九月上旬にかけて、二十歳以上の町民のみなさんを対象に、第八回住民意識調査を行いました。この調査はみなさんがまちづくりについて、どのような考えを持っているかを把握し、二十一世紀を展望したふるさとづくりの基礎資料を得ることを目的としたものです。町民のみなさんの中から、各年代ごとに分け、男女千人の方を無作為抽出し、郵送で調査を行い、六百七十九人の方から回答をいただきました。そこで、この調査結果から主なものを抜き出し、それに基づき町長から今後のまちづくりについて述べさせていただきます。

1.

幸田町の住みごころはどうですか



全体の約七六％の人が「住みやすい」、「どちらかといえは住みやすい」と答えています。これは、前回調査（平成元年）とほぼ同じ割合で、特に「どちらかといえは住みやすい」と答えた人が多くなっています。そして、「住みやすい」という人は、年代が上がるにつれて多くなっています。

身近な環境で「良い面」は、前回調査と同様「自然環境がよいから」がトップでした。

一方、住みにくい理由では、「医療機関が少ない」がトップになり、「道路、下水道など環境が悪いから」が

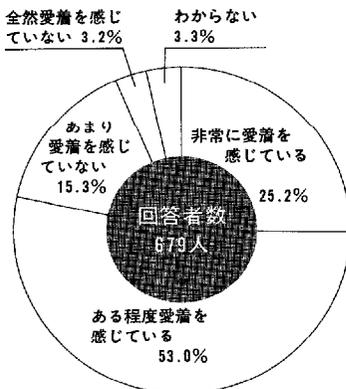
続きました。

町長▼たくさんの方が身近な環境で「良い面」としていらっしゃる豊かな自然は、本町にとって大きな財産

です。積極的に守っていく必要があります。自然保護との調和をとりながら町づくりを進めたいと思います。

2.

自分のまちとして愛着を感じますか



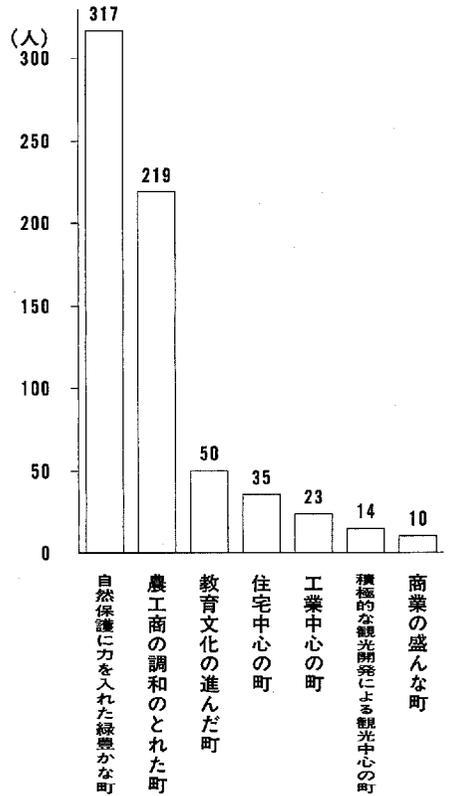
「非常に愛着を感じている」、「ある程度愛着を感じている」が全体の約八割で、どちらとも前回の調査とほぼ同じになっています。

「全然愛着を感じていない」、「あまり愛着を感じていない」は若い年代ほど回答率は高くなっています。



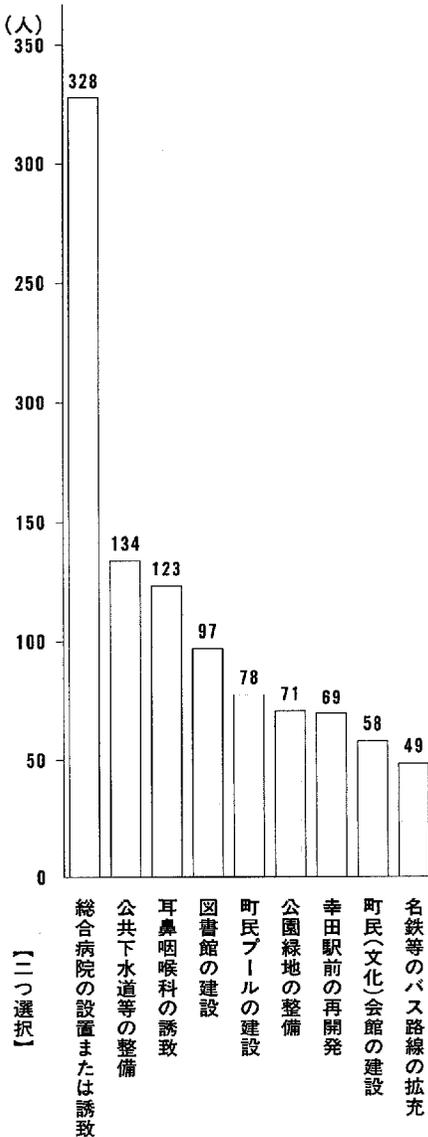
観劇、演奏会など感動するような場が幸田にはありません。場所を作って機会を与えてください。明るい子どもが明るい町にしてくれると信じています。

町長▼幸田町の今ある豊かな自然を農業、工業、商業の発展、すなわち町の発展といかに調和させて守っていくかが、大きな課題であると思います。緑豊かな活力ある幸田町を次の世代に引き継げるように、私たちは頑張っていく必要があります。



住民意識調査 (4~9ページ)

4. 住みよいまちづくりに向け特に期待する事業は



トップが「総合病院の設置または誘致」で、二位が「公共下水道等の整備」となっており、これは前回調査と同様で、回答率もほぼ同じです。

町長▼医療施設の整備は本町にとって大きな課題ですが、当面、町立の総合病院は財政的に無理ですので、医療法人などの病院を積極的に誘致するよう努力し、みなさんに安心していただけるようにしたいと思っています。私たちは常々、健康保持に認識を持つべきだと思いますので、「健康の町」宣言を啓発するとともに、保健行政にも努力します。

又、下水道の建設は市街化区域は矢作川流域下水道、公共下水道で対応しています。市街化調整区域は集落排水事業を推進し、それ以外は合併処理浄化槽の設置に対応するなど全町下水道化に向け、今後もさらに努力していきます。



▲造成完了した幸田長嶺地区工業用地を望む(開発面積は30.44ヘクタール)。既に進出企業も決定し、平成4年4月から建設工事が始められる。

5.

老人福祉対策で優先すべきことは

結果は「ねたきり老人等の介護、施設の建設」がトップ、二位に「医療費の補助」となっています。又、「老人雇用のあつせん」と答えた人は六十歳代に特に少ない結果となりました。

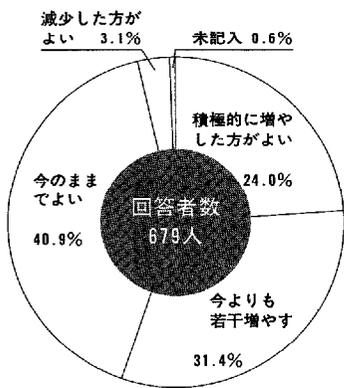
●みなさんの意見・要望

高齢者社会での停年後の働き先とか学習とか自分の将来を考えて、若いときから力を入れてみてはどうですか。

町長▼他の先進諸国に例を見ないような急速なテンポで人口の高齢化が進んでいます。これは、本町でも例外ではありません。高齢化社会では、お年寄りの役割は一層重要となるでしょう。そのため、働くことにより生きがいを得る高齢者生きがいセンターの活用など積極的に高齢者対策を進めていきます。

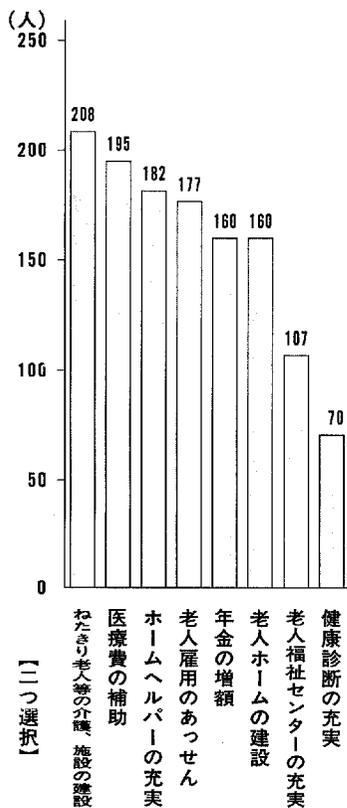
6.

町の将来人口についてどう思いますか



トップが「今のままでよい」、二位が「今よりも若干増やす」でした。

町長▼人口は、町の発展に伴って増加するものと思います。人口が急激に増えることはあまり好ましくありませんが、優良企業を立地し、そこに働く人が増え、それにより町の人口が増えることは、町全体も活力がでることでもあります。



7.

健康にはどんなことに気をつけていますか

「食生活に気をつける」が二六・

五%、「各種健康診断を受ける」が二

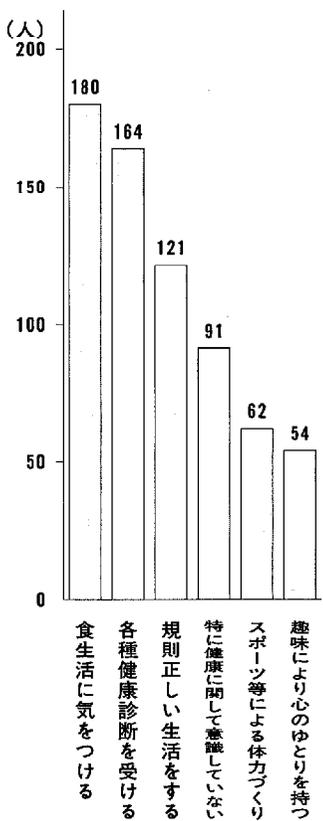
四・二％、「規則正しい生活をする」が一七・八％となっています。

●みなさんの意見・要望

町内に在住在動している人ならだれでも割安に参加できる料理教室、お茶、エアロビクスなどの活動を増やしてほしいと思います。現在もありませんが、日中なので仕事を持っている人たちは全然参加できません。午後七時ぐらいから始まるようになっています。

町長▼保健面では住民健診、人間ドック、各種がん検診などを行い、みなさんの健康管理の一助としていきます。

スポーツ面では老若男女を問わず、どなたにも気軽に参加していただけるスポーツということで、グラウンド・ゴルフを全町に広めようとしていますので、お気軽にご参加ください。



8.

二十一世紀を展望し 新しい知識や技術分野の教育が必要ですが 特に何が重要と思いますか

「生涯学習教育」がトップで、二位が「国際教育」、三位が「環境関連技術」となり、現在の時代を反映し

た結果となりました。

町長▼「生涯学習教育」については今年四月に実施した機構改革により

新設した社会教育課に生涯学習係を設置し、町民のみなさんの要望に沿えるよう努力しています。

項目	人数	回答率%	順位
生涯学習教育	245	36.1	1
国際教育	153	22.5	2
環境関連技術	117	17.2	3
高度化学技術	52	7.7	4
情報関連技術	48	7.1	5
農漁業関連技術	41	6.0	6
その他	14	2.1	7
無回答	9	1.3	8
合計	679	100	-

9.

ゴミの減量化・資源化対策について 何を優先すべきだと思いますか

最近のゴミ問題に反映して今回新たに設問しましたが、トップが「ゴミに対する意識の改革」で、二位は「リサイクル運動の徹底」、三位は「処理施設の整備」となりました。

●みなさんの意見・要望

ゴミの収集について、今のままで捨てる場の確保や捨てる場近隣の汚染など、大変なことになる時がもうそこまで来ています。分別収集の徹底

を今すぐ行ってください。又は有料にしてゴミの量を減らすことを考えるべきです。現在は畑などの捨て場があっても野菜くずはゴミとして出されています。

町長▼春と秋の年二回、町民総参加クリーン運動を実施していますが、本年から空きカン回収機（くうかん鳥）を町内二か所に設置するなど、ゴミ施策に努めています。

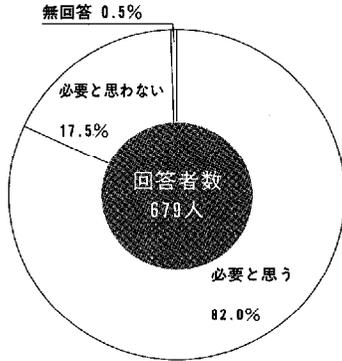


▲図書券が当たるくうかん鳥

項目	人数	回答率%	順位
住民のゴミに対する意識の改革を行う	217	32.0	1
リサイクル運動の徹底を図る	205	30.2	2
処理施設の整備を行う	135	19.9	3
自己処理の推進を図る	79	11.6	4
ゴミ処理の有料化	43	6.3	5
無回答	0	0	6
合計	679	100	—

10.

国際交流は必要だと思いますか



「必要と思う」と答えた人が八二％あり、又、交流先の選定および事業の展開において、何を目的にしたらよいと思うのかの設問に対して、約五〇％の人が「文化面に」と答えています。

町長▼国際化時代に対応するため、中学生の海外派遣や中学校への外国人教師の招へいを実施しています。又、本年度から職員を海外派遣するなど積極的な事業展開をしています。

11.

町政にみなさんの意見が反映されていますか

前回調査と比べて特に目立つことは、「よく反映されている」、「まあまあ反映されている」は年齢が高くなるほど回答率が高く、逆に「あまり反映されていない」、「反映されていない」は、若い年代ほど高くなっています。

町長▼みなさんの意見をできる限り町政に反映できるように、この調査を含め町政懇談会、町政モニター制度などを採り入れています。しかし、まだまだ十分とはいえません。

今後、より公平な町政を進めるために、多くの人の意見を伺う機会を設け、この「反映されている」という割合を増やしていきたいと思っています。

住民意識調査の問い合わせ先

役場総務部企画課情報係

☎ 62-1111 内線へ322

多くの皆様方から、貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。

高度情報化、高齢化、国際化の波は確実に押し寄せており、町民の価値観はさらに多様化しています。人口三万人を超えた今日、これら増大する行政需要に対して的確な見極めと時代の流れに即した対応が必要であります。

第三次総合計画で求めるところの「人と自然と産業の調和」を基本理念とし、将来の飛躍のため健全で安定した行政運営に努めて行かなければなりません。

幸田町は農業・工業・商業をふくめ、ますます発展する可能性を持っています。

二十一世紀に向けて、「豊かで文化の薫りど、活力に満ち未来を拓く町づくり」のため、最善の努力をいたします。

●町長結び●

ご協力ありがとうございました

1月15日開催の成人式に向けて、企画運営して下さる新成人13人のスタッフの中から、7人の方に「20歳に思うこと」をお伺いしました。

はたち

二十歳に思う

適度の緊張感が大切な時

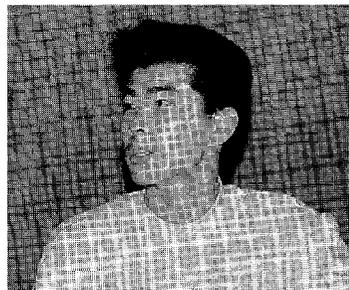
年月は経つことが早く、二十歳の成人式を迎えることになった。今までは十年一昔と言っていたが、今では三年が一昔ぐらいになっている。東西ドイツが統一され、ベルリンの壁が無くなるなんて、だれも予想もしなかった。あれよ、あれよと言間に国際社会は激変し、私たちは今までの考え方を変えなければいけないようになってしまった。今の世の中、情報化社会と言われ、我々の日常生活も大きく変化している。二十一世紀を生きていく私たちは、このように大きく変化する社会にも立ち向かっていかななくてはならない。立派な社会人として、堂々と自信を持って生きていきたいと思う。



藤井 忍さん 横落

個性を生かし夢に向かって邁進

成人を迎え改めて考えてみると、今までの僕は両親や友人に頼ってばかりで、周りの人達が作った波に乗って気楽に過ごしてきました。しかし、成人となり、社会的にも認められ、責任ある行動が求められるようになりました。これからは自分がどのような立場におかれ、又、どのような行動をしたらよいのかを自分自身で考え、思いやりを忘れない行動をしていきたいと思えます。自分の個性を大切にしながら夢を見つけ、それに向かって邁進し、いつか社会という「大海」に僕だけの波を大きくくうねり起こしていきたいです。最後に今年成人を迎えた皆さん、おめでとうございます。



長谷英樹さん 桐山

これまでの自分からこれからの自分へ

多くの人の手に支えられてきた私も、二十歳になって成人式を迎えることができました。新人になるのとタバコを吸ったり、お酒が飲めるようになるだけではありません。選挙権も与えられるようになり、大人の仲間入りを自覚させられます。人生にはいくつもの区切りがあるといいますが、成人式もその一つだと思います。私は今まで何かと人に頼って生きて来たのですが、これを節目としてこれまでの自分を脱ぎ捨てて、自分で行動できる人となるように努力していきたいと思えます。また、幸田の町の発展に役立つような大人に成長したいと思えます。



大竹康弘さん 里

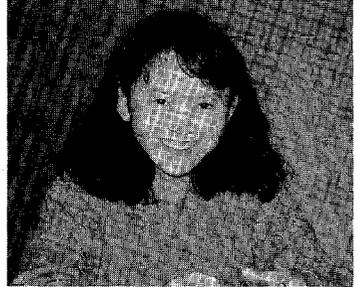


小川記恵子さん 上六栗

“受動”から “能動”へ変換

私は昨年(去年)の十二月に二十回目の誕生日を迎え、二十歳になりました。今日までの二十年間、風のように通り過ぎていく毎日の中で、何かを身につけ、親から、師から、友からの教えを自分の物にして歩いてきました。二十歳は長い人生の中で、いわゆる節目です。これを境に今までの受動的な姿勢から、能動的な姿勢へと変換して、私がしてあげられることを、より多くの人々に惜しみなく与えていきたいと思っています。

今年、私は短大を卒業し就職します。「学生」という壁を乗り越えて、「社会」という壁にぶつかっていきます。今一度、自分を見つめ直したいと思っています。



金子真理さん 里

幸田町発展に 努力

今年晴れて成人式を迎え、いよいよ大人の仲間入りをするのになりました。今までお世話になった周りの人に感謝しています。これからは、社会に認められた一人として自分の行動に責任を持って行きます。

現在、世界は目まぐるしい変化を遂げています。日本国内においても二十一世紀に向け、「国際化」を旨とする風潮が高まってきています。そんな状況の中で成人を迎えた我々は、はたして社会に対し何をしたらよいのかという不安や迷いで一杯ですが、今後の幸田町の発展のため少しでも役に立てるよう努力して行きたいと思っています。



吉口枝里さん 鷺田

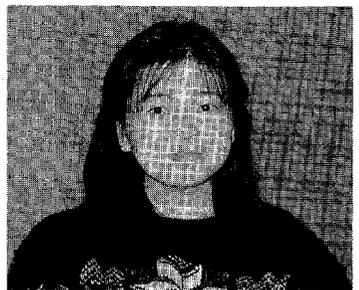
現実を しっかり見つめて

成人式を迎え、いよいよ大人の仲間入りをすることで、夢や期待が広がります。そして、責任も大きく、身のひきしまる思いがします。

「二十一世紀を担う若者たち」と、しばしば耳にしますが、私は大きなことを考えずに、現実をしつかり見つめて着実に進んでいきたいと思っています。

交通事故のない社会を望むなら、まず自分から厳しく交通安全に取り組みます。だから、アルバイトの行き帰りの車の運転には、十分気をつけています。

また、老人や子供への思いやりや社会を明るくする、小さな親切運動も大切だと思います。仲間の人たちと力を合わせてやっていきたいと思っています。



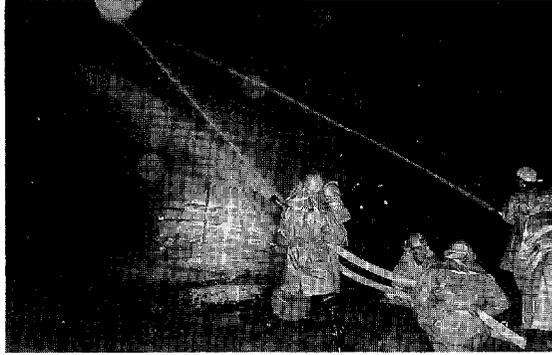
斉藤理恵さん 市場

成人式を 迎えるにあたり

成人式を迎えるにあたり、今まで支えてくれた両親をはじめ、温かく見守ってくださった多くの方々に感謝する気持ちでいっぱいです。これからは社会では大人として見ていただけるのと同時に、自分の行動に今までの以上の責任と自覚が必要です。人生の節目であり、また私自身今年から社会人となります。いろいろな悩みや苦しみ私が私を襲うでしょう。しかし、その何倍もの楽しいこと、うれしいことがあるはずで、人生「七転八起」のことわざにあるように、いかなる時にも夢を持ち、くじけずがんばっていききたいと思います。

真剣に取り組む団員たち

11月10日(月)、高力地内で消防団出動訓練が実施されました。火災の多い季節を迎え、実火災さながらの出動消火訓練に、団員は放水の水と汗にぬれながら、一生懸命取り組んでいました。



万一の事故に備えて

12月2日(月)から5日(木)まで中央公民館で救急法講習会が開催されました。幼稚園、保育園、小中高等学校及び各事業所から参加した人たちは真剣に講習を受けていました。



無理なく楽しく健康体操

11月7日から毎週木曜日に行われている健康体操は、腰痛や肩こりなどで悩んでいる人が無理なく簡単にできる体操です。自分の体に合った体操をして、心と体の健康づくりをしています。



私の家の近くに老人福祉センターがあります。その裏には里公園とゲートボール場があります。週のうち何日かは老人クラブの送迎バスが往復して、バスの中でニコニコした老人の顔が見える時もあります。センターでは健康診断、入浴、ゲートボール、カラオケなど内容に豊み、慰問の方々も定期的に訪れます。デイケアの方も保健婦さんの手助けで日増しに元気になります。授産所では職員の指導のもとに楽しそうに、又、真剣に作業してみえます。

福祉といえは色々ありますが、だれもが迎える老後を考える時、

老後を考える時

伊藤 民子さん(里)

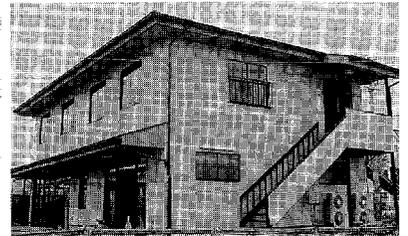
田沼センターだより ⑦

みんなの広場

身近なできごとや話題を
総務部企画課情報係 ☎62・1111へ

休憩所&コミュニティホーム

三ヶ根駅前
オープン



三ヶ根駅前に町民の皆さんに利用していただける施設が完成しました。

- 規模/鉄骨造2階建
- 延床面積/259.20㎡
- 建設費/5,150万円
- 内容

〔1階〕三ヶ根駅前休憩所

三河湾国定公園の玄関口として観光客のための無料休憩所、売店などを備えた施設です。

〔2階〕三ヶ根駅前コミュニティホーム

コミュニティ充実のため、町民の皆さんに利用していただける施設で、コミュニティホール、研修室などを備えています。なお、この施設は平成3年度宝くじ助成金1,540万円を財源に建てられたものです。2階の利用についてのお問い合わせは総務部企画課企画係〈内線321〉へ。

生きがいセンターだより

「某月某日」

“キウイ大変”

シルバーなかがまが、もらったキウイを、みんなに平等に渡るように、玄関に座りこんでビニール袋につめていました。

それをもらった作業室のなかがまが、

「このキウリはよくあからんどのねえ。」

「ほえ、キウリじゃないよ、キウイだよ。」

「キウリかん？」

「ちがう、キウリ！ほれみりん、わしまでおかしくなっちゃったがん。」

それを聞いていた男性のKさんが、

「こいつはばかだもん、ちつとも覚えやがやへん。」

こちらでは、男性のMさんが不審そうに

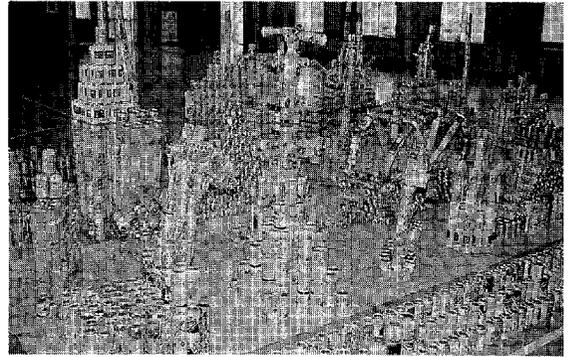
「この……じゃがいも……いま植えとくと……来年には……食べられるか……ん？」

「ほい、Mさん、ジャガイモじゃないよ。」

「はあ？」

11月16日(土)、東京の有楽町朝日スクエアでアルミ缶オブジェコンテストの表彰式があり、中央小が入賞しました。6年生全員の共同製作で、約5,000個のアルミ缶で作りました。

アルミ缶で「1000年後の都市」を製作



念願の初優勝

11月10日(日)、幸田小学校運動場で幸田町子ども会女子ドッジボール大会が開催されました。参加は18チームで360人。成績は優勝/鷺田、準優勝/エンゼル、3位/幸田・三菱でした。



給食優良校として文部大臣表彰

南部中ではランチルームでの招待会食など「楽しい会食」を通して、望ましい食習慣・好ましい人間関係・協力する心や態度の育成に努めています。その成果が認められ10月31日、表彰されました。



健康面、経済面での不安感もあり、社会環境はどう変わっているのか、そして老人福祉はどうだろうかと関心が高まります。私は現在四十代前半ですが、統計によれば三十年後には六十五歳以上が二三%になり、若い世代が多くの人社会を支えていくこととなります。果して現在と同じような福祉が受けられるのでしょうか。老人予備軍の年代の私たちは行政に期待するとともに積極的に参加し自立する福祉へ、そして物質的福祉から精神的福祉へと意識の転換が必要ではないかと思えます。元気な老人がそうでない老人の世話をする時代がそこまで来ます。平成四年を迎え、ますます住みよい幸田町になりますよう、町民全体で協力していきたいものです。

1月の神経芽細胞腫検査

平成3年7月生まれの乳児を対象に、神経芽細胞腫検査を行います。4か月児健診で配布した「ろ紙」に尿を湿らせて、愛知県健康づくり振興事業団へ必ず郵送してください。

都市計画課

事業計画変更の縦覧

幸田芦谷土地区画整理組合では、事業計画の一部を変更するため次のとおり縦覧を行います。

縦覧期間 1月10日(金)～23日(木)

縦覧場所 都市計画課事務室

産業課

勤労者融資

勤労者の福祉制度として、次のような融資が利用できます。

- 申込資格 ①勤続年数が1年以上の人
②居住年数が1年以上の人
③愛知県勤労者信用基金協会の保証が受けられる人

●主な融資制度の内容

担 保	融資限度	返済
生活資金…無担保	100万円	5年以内
教育資金…無担保	300万円	10年以内
自動車購入…無担保	300万円	10年以内
住宅資金…有担保	5,000万円	30年以内
根抵当ローン…有担保	5,000万円	30年以内

取扱金融機関/愛知県労働金庫本・支店

問い合わせ先 ろうきん相談センター
フリーダイヤル
☎0120-226-616



消 防 署

消 防 出 初 め 式

と き 1月5日(日) 午後1時～

と ころ 幸田中学校運動場

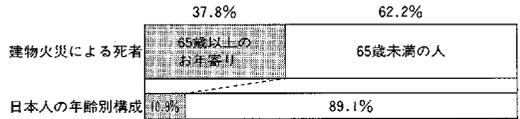
内 容 消防団員、消防署員180名、消防車両16台による点検、分列行進など

家庭に防災品を

火災による死亡の約4割が65歳以上のお年寄りで、5歳以下の子どもを含めると全体の半数を占めています。人口の年齢別構成で見ると、65歳未満の人に比べ6倍の高率で亡くなっています。こうしたお年寄りや子ども、体の不自由な人など災害弱者を火災から守る方法の一つに防災品があります。

私たちの身のまわりには燃えやすいものがたくさんあります。例えば衣類やカーテンは大変燃えやすく、火災のとき火の回りを早く大きくします。このような繊維の特性を防災薬剤で加工し、燃え広がりを抑制し、消火避難の時間をかせぐようにしてあるものが防災品です。

火災から家族を守るには、まず火災を出さないようにすることです。しかし、万一に備え、特にお年寄りや子ども、体の不自由な人がある家庭ではカーテンやじゅうたん、衣類や寝具類などは防災品を使いましょう。



火事による死者 65歳未満 人口10万人当たり0.6人
65歳以上 人口10万人当たり3.6人

25ミリ

30ミリ

40ミリ

消防庁認定

認定番号

防 災

製造法人 日本防災協会

防災製品

事業所番号 _____

製品番号 _____

防災製品認定委員会

財団法人 日本防災協会

児童手当

●1人目の子どもから支給されます。

平成4年1月1日から児童手当制度が変わり、1人目の子どもから支給の対象となりました。該当される方はお早めに手続きをしてください。
支給対象児童

平成3年1月2日以後に生まれた児童
お持ち頂くもの
印鑑、振込口座の分かるもの
第1子支給金額

5,000円(月額)
※前年所得が一定の額未満の場合に認定されます。
申込先
役場福祉部福祉課児童係
<内線125>

今月の税金と料金納付

- 国民健康保険税 第 5 期
 - 国民年金保険料 1 月 分
 - 上下水道料 11月、12月使用分
 - 町民税・県民税 第 4 期
 - 保育料 1 月 分
- ※納入期限 1月31日(金)

総務課

行政相談

と き 1月22日(水) 午前9時～正午
 ところ 役場1階 101会議室
 相談員 池田 一市氏 自宅☎62-1302

幸田町犯罪状況

11月	侵入盗	車両関係盗	その他	計
件数	9	10	3	22

税務課

確定申告はお早めに

平成3年分の所得税の確定申告は、2月16日から3月16日までです。

●所得税の確定申告をしなければならない人
 <一般の人の場合>

平成3年中の所得の合計額が基礎控除、配偶者控除、扶養控除などの所得控除の額を超える人

<サラリーマンの場合>

- ①給与の収入が1,500万円を超える人
 - ②給与所得や退職所得以外の所得の合計額が20万円を超える人
 - ③給与の支払いを2か所以上から受けている人
- なお、贈与税の申告は2月1日から3月16日まで、個人事業者の消費税の申告期限は3月31日までです。

問い合わせ先 岡崎税務署☎22-6511

福祉課

心配ごと相談

と き 毎週水曜日 午前9時～正午
 ところ 役場101会議室
 相談員 1月8日 古田昭一郎氏 伊沢佐恵子氏
 22日 夏目昭次氏 磯部キヨ氏
 29日 本田治三郎氏 藤井紀子氏

老人福祉センター行事

健康相談 毎週月、水、金曜日(担当 保健課)
 1月13日(月) せん茶接待
 20日(月) 民踊(さつき会)
 22日(水) 民踊(三藤会)
 24日(金) 民踊(すみれ会)
 27日(月) 民踊(佐々波会)
 せん茶接待
 29日(水) 民踊(愛好会)

母子家庭相談

と き 毎週月曜日 午前10時～午後5時
 相談員 愛知県母子相談員 長谷美代子氏

寄付 ありがとうございます

幸田町社会福祉協議会へ
 幸田町商工会様(チャリティーバザー収益金) 126,400円
 熊井義昭様(横落) 2,000円

保健課

老人健康相談

と き 毎週月、水、金曜日 午前10時～正午
 ところ 老人福祉センター
 担当医師 金山政敏氏
 内 容 検尿、血圧検査、診察、保健指導
 ○相談を受ける人は健康手帳をお持ちください。
 ○曜日は都合により変更することがあります。
 ○対象は40歳以上です。

11月の事故状況

	件数(人)	累計(1~11月)
死亡	1(1)	5(5)
重傷	1(1)	5(5)
軽傷	14(17)	138(163)
物損	98	890



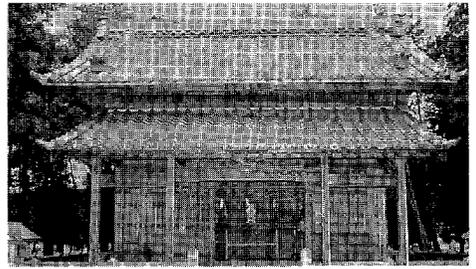
南部中と北部中に パーソナルコンピュータ

南部中と北部中にパーソナルコンピュータが入りました。1校22台で計44台。金額は約3,255万円です。

[15]

■難病で悩んでいる人、難病ではないかと心配している人は岡崎市医師会難病相談室☎52-1572へ相談日時を電話予約してください。秘密厳守ですから、お気軽にご相談ください。

記あるて見たこうた

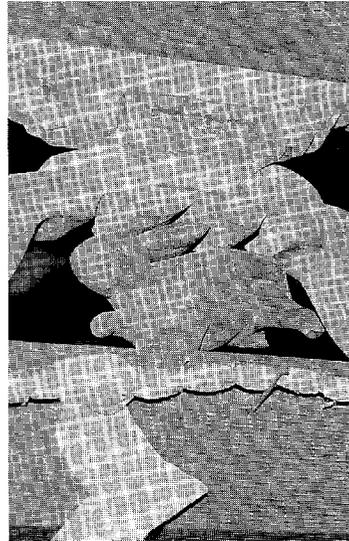


三村神社を訪ねて(坂崎)

本殿

相見川をさかのぼり、坂崎の馬場から長嶺へ川を渡ったところに、こんもりとした森があつて、その中に三村神社があります。この社は、坂崎・長嶺・久保田三村の氏神ということで、明治三年にこの呼名に改められました。中古には坂崎大明神、元祿のころには三社大明神又は三所大明神といわれていました、今では村人たちは「大宮さ

峯の山頂にまつられたと伝えられています。又、天文のころ、坂崎城主の天野隆景(康景の父)が先祖舎人遠景を氏神として合祀したことから、その後いつの間にか舎人親王が祭神の一柱となつたようです。さらに江戸時代には、坂崎の領主大久保氏に尊崇され、現存の石鳥居は元祿十年に寄進され、又、その社地は年貢も免除されました。



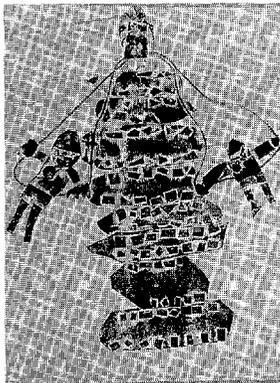
ひだりじんごろう
左甚五郎作「うさぎ」

ん」と親しみをもつて呼んでいます。この社の創祀は明らかではありませんが、祭神として、大和武尊、八剣命・舎人親王の三柱となつており、かなり古い時代からあり、伝説と歴史に彩られています。

大和武尊が東夷征伐の途次、その皇子鏡別王をこの地に残して去られたが、尊が間もなく亡くなられ、父君を追慕して京ヶ

この社は本殿のらん間に彫られた「うさぎ」は、左甚五郎作で、夜な夜な里へ出て作物を荒らしたので、その足を一本折つてあるという言い伝えもあります。

この社の額面は、昭和の始め熱田神宮宮司、岡部氏の筆になつたもので、祭神大和武尊の縁によると思われます。



近藤豊将くん(2年)

小学生
画伯登場

祐太朗くんが力を入れて、タイヤを持っているようすがわかります。足の形も工夫していますね。



本田祐太朗くん(1年)



豊将くんがロープにつかまって、ぐるぐる回っているところが、ダイナミックにできました。

中央
小学校

生涯学習の実践者

22

三浦はるさん

大草・七十七歳

三味線の音色に魅せられて

“元日や松の緑もめでたけれ”



現在普及している三味線は、昔、貿易港として栄えた九州の博多あたりに沖繩から蛇皮線として入ってきたものが、いろいろな過程を経て、広く世間に認められる弦楽器の代表となったと伝えられています。

私は昭和五十五年ごろ、婦人会お好みコースの民謡部に入会しました。岡崎から藤本秀麻先生をお迎えして指導を受けていました。先生の演奏される澄んだ三味線の音色を耳にするたびに、うっとり聞きほれていました。あるとき先生が「皆さんも三味線を習ってみませんか」と声をかけてくださいました。一瞬、私に三味線が弾けるかし

らと迷いましたが、この機会をのがしてはと意を決し、同志とクラブを結成することにしました。

どの道も同じですが、一歩踏み入れてみると、奥深い道であることをしみじみと感じています。三味線を習う人、弾く人は第一に調子、第二にツボ、第三にさわりの基本をしつかりと覚えなければなりません。音感の鈍い不器用な私にとつては、難しい道でした。意を決して入会したからは何としても会得したいと思いますが、なかなか上達できません。

先生は「三味線の上達は毎日たとえ三十分でも三味線を手にして練習することです。暇がないというのは口実で、暇は自分で作るものです」とおっしゃいますが、雑用に追われてなかなか思うようにできません。

結成後十年近く経ちましたが、会員同士が協力し合って、それぞれに頑張っています。私も年をとっていますが、若い人

たちに置いていかれないよう、この「みすじ、ひとすじ」の道を生涯学習としていきたいと思

います。「師の三味の音色、澄みたる弾き始め」。



▲里の老人福祉センターで演奏する三浦さん

編集後記



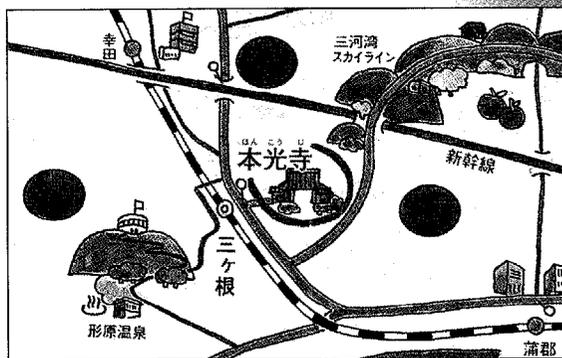
▼一年が早い。特に十二月に入るとアツという間に一日が過ぎていく。▼印刷会社への原稿出しは十二月十日、何と明日である。「困ったなあ」。まだ半分しかできていない。仕事をしている自分の顔がひきつっている。傍から見たら、人相も相当に悪いことだろう。締め切りに追われない仕事に懐かしくなる。▼深溝の本光寺に四季桜が咲いていた。広辞苑で「四季桜」を調べてみる。ヒガンザクラの一品種。小木で枝細く、花は小形で白色または淡紅色、多少八重となる。十月ころから開花し始め四月まで、冬中も少しずつ咲く」とあった。▼新年号の表紙に桜？と思われるかも知れない。しかし、珍しさもあって、あえて表紙に選ばせていただいた。

JAN

1



本光寺の四季桜 里



◀遠望峰山からの日の出